

# 東播支部だより

## 新年のご挨拶



東播支部長  
石田真一

新年あけましておめでとうございます。隊友会東播支部の皆様におかれましては、清々しいお気持ちで令和5年の新春をお迎えのこととお慶び致します。また、旧年中の支部活動への積極的なご参加とご活躍に対し心から感謝申し上げます。

昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻、中国の台湾に対する強硬姿勢や国内に対する強硬な統制の顕著な強化、新型コロナウイルスの変異に伴う繰り返しの大規模感染症継続、安倍元首相の銃撃事案からの政治とそれを巻き取る団体に関する検討等極めて変化の大きい年で、皆様の生活にも物価の高騰や行動制限の継続・変更による影

第79号  
発行所  
公益社団法人  
兵庫県隊友会  
東播支部  
0790-49-3027  
発行責任者  
桑原 博



響がいつもの年に比して大きい年であったと思います。その中においても、東播支部は屋外で行う行事は全て行うことが出来、支部会員・現職隊員家族多数の参加をいただくとともに県隊友会長・事務局長等の参加を得た行事も複数回あり、支部活動が活発に継続できたことはひとえに会員の皆様の熱意・行動力とご協力のお陰と御礼申し上げます。

ロシアのウクライナ侵攻に関しては、ミサイルや無人機による攻撃の効果、数に勝るも士気が低く兵士の質に問題あると報道されているロシア軍に対して国土・国民防衛意識の高いウクライナ軍の反攻の成果、エネルギー・食糧や兵器の調達を含めた国家の総合力での多岐にわたる競争・駆け引き等極めて混沌としています。長期化の様相で日本国内・国民一人一人にもまだ多大の影響が継続するものと思われまます。また、中国の台湾に代表される自国の権益に關しては一步も引かない姿勢や民主

化・言論・報道・情報の自由に対する強権をもつてする抑圧は一層強まっているように感じまます。この様な中、我が国では防衛力の抜本強化ということでは予算の大幅増加や部隊・装備の改変や更新が図られるとの動きが出てきており、やつと動きだしたかなと少し安心するとともに理解少ない人や反対勢力との議論で骨抜きにされないよう祈っているところです。

自衛隊においては、周辺情勢や新たな戦いの様相に対応できるよう部隊の改変が進められており、近隣の部隊でも近く改編があるようにも聞いています。また、12月に青野原駐屯地司令として初めて女性司令が着任される等更に女性自衛官の活躍の場も広がっているようです。

このような環境の変化の中、東播支部は今年も会員相互の親睦・連携の継続・拡充を図るとともに部隊と現職隊員への協力・支援事業を充実させるよう諸活動の検討・改善を図っていききたいと考えています。新型コロナウイルスについては昨年の第7波について今は第8波と当初に比べ各段に患者数が増えています。ワクチン接種のお陰か重症化や死亡率は低下してきています。とは言え、重傷者・死亡者数

や医療のひつ迫状況からまだまだ安心はできない状況です。対策を継続しつつ支部活動を進めて行きたいと思ひます。今年もご家族の皆様を含めてのご健勝とご活躍を祈念しますとともに、会員皆様のご協力をお願いしまして挨拶と致します。

東播支部長 石田 真一



# サツマイモの収穫祭

サツマイモ収穫祭を支部長石田真一他会員26名、青野原駐屯地隊員13名、隊員家族31名に参加して頂き、盛大に行いました。

当日は、絶好の曇り空となり、暑くもなく、寒くもなくお子様が楽しそうに芋ほりをする風景を楽しむことが出来ました。



サツマイモの収穫に没頭する隊員家族

5月21日支部総会終了後に全員でサツマイモの植付を行い、その後は、支部長他の休耕田近隣の会員が、こまめに手入れして大切に育てて頂きました。心からお礼を申し上げます。また、猛暑であった影響もあり、非常に生育が良く大きなサツマイモがたくさん収穫出来て、参加者全員が大満足の1日となりました。



さつまいもどこ？

コロナ禍が続く昨今、何処に行くにも気を遣うご時世の中で、少しでも隊員家族に憩いの場を提供できればと切なる願いを込めて事業継続をしています。また、隊員との触れ合いを積極的に行うことで、隊友会会員獲得の一助となればとの強い気持ちを持って取組んでいます

事務局長 細貝寛徳



これは、大物だぜ！



超BIGサツマイモ

# 歴史ウォーク

(加西市 鶉野飛行場跡地)

兵庫県隊友会東播支部は今年の歴史ウォーク(史跡研修)で兵庫県加西市鶉野町にある姫路海軍航空隊鶉野飛行場跡地の研修を令和4年11月6日に計画開催いたしました。

今回の研修においては、県内の各支部にも研修参加を呼びかけて、多くの会員の参加を募りま



「紫電改」 実物大模型

したが、広い兵庫県内各地からの参加はなかなか難しいこともあり、県本部から小川会長、小林事務局長、中筋次長（神戸東支部）、神戸東支部から元会長の熊谷氏、原支部長、村田事務局長、朝原特別会員にお越し頂きました。東播支部からは石田支部長以下19名の会員と家族1名に参加して頂きました。



鹿屋航空基地資料館から貸与されたSNJ

96式25ミリ対空機銃

当日は、絶好の晴天に恵まれたことや本年度2回目の紫電改（実物大の模型）の屋外展示の日でもあり、大勢の見学客に紛れて見学を楽しむことができました。

見学においては、保存会の会長でもある上谷様のご協力を頂き、最初に記念碑前で63名の英霊に対し黙とうを捧げ、soraかさい平和学習ミュージアムの見学から始まり、戦艦大和のミニチュア版の見学、防空壕の見学、無蓋掩体壕に展示されている鹿屋航空基地資料館に展示されていたSNJ（練習機）の見学、対空機銃（96式25ミリ対空機銃の実物大模型）銃座の見学、姫路海軍航空隊の門柱と衛兵詰所を見学して終了となりました。

姫路海軍航空隊は1943年（昭和18年10月）に開隊し、1945年（昭和20年5月）に閉隊しました。この間、戦局が悪化する中で特攻隊が編成され、神風特別攻撃隊「白鷺（はくろ）隊」は、5回の出撃で21機の戦闘機と63名の若者が沖繩の空に散っていったそうです。滑走路は全長1200メートル、幅60メートルで、国内に原型を留めて残存する戦争遺跡は鶉野飛行場跡地のみと思われます。

soraかさいは令和4年4月にオープンし、2度と国民を犠牲にする戦争を起こさない・起こさせない為、中学生に対する平和学習が行われているとお聞きしています。

また、毎年10月第1日曜日には、戦死された方々を偲び、平和の式典を行っております。

から整備要望が届くものと思われるます。無理のない範囲で支援できるように支部役員で協議して進めていきたいと考えます。全ては、貴重な戦争遺跡の維持・管理の為に元自衛官の団体として尽力できればと考えております。

今回の参加者の中にも、今度は家族を連れて見学に来ます等のお言葉も頂きました。

この記事を読まれて興味がある方は、HPで検索して学習した後に見学されると良いのではないのでしょうか。

事務局長 細貝寛徳

### 支部忘年会

隊友会東播支部は令和4年11月19日17時から東加古川駅東側に於ける割烹「弁慶」において忘年会を開催しました。参加者は支部からは石田支部長以下17名の他に県の小川会長、小林事務局長、中筋次長にも参加して頂きました。

会の冒頭、石田支部長から県の会長、事務局長、次長の参加に感謝を述べられるとともに、まだ行事が残っている状況にありますが、今年1年の会員の皆様の活動に感謝するとともに、ねぎらいの言葉

### 参加者による記念撮影



我が東播支部は長年に渡りボランティア活動の一環で平和祈念の碑の周辺草刈りを行っております。今後も鶉野平和祈念の碑苑保存会

を頂きました。また、コロナ第8波の蔓延の兆しがある中での開催であり、参加された皆様には十分な注意と自覚ある行動をしていただくようお願いされました。乾杯は県事務局長の小林様をお願いして開会しました。



今年も1年支部活動あ疲れ様でした

参加された会員は、普段ほとんど県の会長や、事務局長、次長とお話する機会がないため、

積極的に会話に加わり、情報共有をして頂きました。また、今年初めて忘年会に参加する支部会員も居られましたが、周りの会員と和気藹藹とした雰囲気の中でてっちり、てつき、刺身、焼き魚、カキフライ等に舌鼓しておられました。

会の中締めめに、県の会長に挨拶をお願いしたところ、会長から支部の忘年会に呼んでいただいたことへのお礼と、今年もコロナの影響により、県としては満足な活動が出来ない中、東播支部は感染に注意した活動を積極的にを行い、毎年の計画行事を推進されていることにより、県の隊友会を引っ張って行っていることに感謝の言葉を頂きました。

この忘年会で今年行ってきた行事の反省と残された行事への取り組み、次年度の修正等がそれぞれ場で話し合われたことと思います。それらの意見を収集して次年度の活動に反映していくことができると考えております。

来年も会員の皆様の参画意識の高揚、団結の強化を促し、更に活性化するように努力したいと

考えております。会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

事務局長 細貝寛徳



県会長が宴を終え退場される時の談笑風景

第9回小野ハーフマラソン2022支援

隊友会東播支部は公益社団法人として地域事業を積極的に支援して、隊友会の認知度を高めることを目的に令和4年12月4日に実施された第9回小野ハーフマラソン

2022に石田支部長以下15名の支部会員で支援を行いました。当日は、雨天の予想を覆して曇り空で、気温も11度から13度と絶好のマラソン日和となりました。完走者数はハーフマラソンが2893名(男子2298名、女子541名)、小学校高学年1.5kmに140名、小学校低学年1.5kmに181名、5km走445名(男子257名、女子188名)と多くの選手の参加があり盛大に行われました。

支援者によるブリーフィング



### ハーフマラソンスタートの瞬間



9時頃から開会式が行われ、協賛企業の代表挨拶、蓬菜小野市長の挨拶、そして大会会長の赤星憲広さん（阪神タイガースOB）が挨拶を行いました。大会アンバサダーとして狩野恵輔さん（阪神タイガースOB）、ゲストランナーに宇田秀生さん（東京2020パラリンピックトライアスロン 銀メダリス



ト）、小野市出身 小林祐梨子さん（北京オリンピックピック5000m出場、元1500m日本記録保持者）、同じく小野市出身 野上恵子さん（2018年ジャカルタアジア競技大会マラソン銀メダリスト）の他、5km走にT岡田さん、ハーフマラソンに阪神タイガースやオリックスバファローズからOBや現役選手がたすきリレーで参加して大会を盛り上げておられました。

また、青野原駐屯地（第8高射特科群）の隊員は先導者及び最終伴走車の支援、各ポイントの状況が無線で掌握する任務が与えられていました。

地方協力本部も白テントブースで募集案内、グッズ販売で自衛隊に対する興味を持っていただけよう努力されました。

今年の支部会員の支援任務は、スタート・ゴール地域の誘導兼ねて警備、完走者の対応、ハーフマラソン完走者へのマスク配布を支援しました。朝8時頃から準備し、9時30分にハーフマラソンがスタート。最終完走者が12時30分であり、約5時間立ちっぱなしの支援は、なかなか重労働といえる支援である為、出来るだけ若い支部会員に声掛けすることで、大会の円滑な運営に寄与することが出来たと思っております。

小野市長も開会式の挨拶において「来年は、第10回という節目の大会であり、今年よりも盛大な大会を目指す」とのお言葉もあり、今年の隊友会東播支部の支援内容が運営側に信頼される状況があると認識されていれば、来年はもっと重要な役割が

与えられるのではと考えています。

その為、支援人員が多くなることも予想されることから、会員の行事参画意識の高揚が重要になると考えています。

会員の皆様の更なる積極的なご支援を心からお願いいたします。

事務局長 細貝寛徳

### 里芋収穫を終えて

隊友会東播支部は令和4年12月10日10時から滝野体育センター前の休耕田において里芋の収穫を池田副支部長以下支部会員16名、青野原駐屯地隊員世帯15世帯45名が参加して恵まれた好天の元、隊員家族と隊友会会員を労う意味を込めて進めました。終始和気藹藹と収穫を楽しみむことが出来ました。

里芋は鈴木理事役が2年間この場所ので栽培してサツマイモの収穫時期に収穫しておりましたが、今年はサツマイモ収穫時に少しだけ収穫して配りました。一度に掘り上げると保存が大変なので時期を遅らせて収穫することにしました。

支部会員と青野原駐屯地隊員家族の皆様



鈴木理事役が栽培する里芋は、芋の茎が赤色をしており、親芋も食べることができる品種であり、何度か調理して食べましたが、料理もしやすく捨てる所ころがない経済的な品種です。駐屯地曹友会長も参加して頂き、自前のカメラを片手に隊員や家族の写真を一生懸命に撮影し、記録として残しておられた姿が印象的でした。

曹友会長からの提案もあり、隊員と隊友会会員が膝を交えて飲みながら退職後に必要な話をして頂ける機会を設けたい。その機会の参加依頼を頂き実現に向けて積極的に支部が協力する意向をお伝えしました。

隊友会東播支部事務局

私がとったから 持って帰る



おとーちゃん おやつ食べたい



支部の活動実績

- 10月22日 サツマイモの収穫祭 支部長以下71名参加
- 11月6日 鶴野飛行場跡地の研修 支部長以下20名参加
- 11月19日 忘年会(加古川弁慶) 支部長以下17名参加
- 11月26日 東播支部理事役会 支部長以下22名参加
- 12月4日 小野ハーフマラソン支援 支部長以下15名参加
- 12月10日 里芋収穫祭(臨時) 副支部長以下61名参加
- 12月11日 県理事役会 事務局長・鈴木理事役参加
- 12月23日 駐屯地年末行事 支部長参加

支部の活動予定

- 1月10日 駐屯地成人式
- 1月12日 新春互礼会
- 1月28日 東播支部理事役会
- 3月下旬 東播支部理事役会



編集後記

明けましておめでとうござい  
ます。年が改まり、厳しい寒さ  
の中にもすがすがしさが感じら  
れる日々ですが、皆様におかれ  
ましては、お健やかに過ごされ  
ることと存じます。さて、早いも  
ので令和4年度も残すところ2ヶ  
月強となりました。今年度も  
「コロナ禍」と共存する形で活  
動を余儀なくされましたが、お  
陰様で会員の皆様のご協力・ご  
支援により、企画いたしました  
「支部活動」を成し遂げる事が  
でき、目標の発行回数を達成す  
ることができました。この場を  
お借りしましてお礼申し上げます。  
来年度も「隊友会東播支部」  
が益々盛況に活動できますよう  
会員の皆様からの引き続きのご  
支援・ご協力並びに多種多様な  
投稿をお待ちしております。

mrxg983@yhb.ne.jp  
桑原 博

hayato.0309.0722@gmail.com  
和久井勇人